



2021年5月10日

各位

会社名 中央化学株式会社

代表者名 代表取締役社長 社長執行役員 近藤 康正

(コード番号 7895)

問合せ先 総務人事部 部長代行 三膳 一志
役職氏名

電話 048-542-2511

2021年3月期通期業績予想の修正および繰延税金資産、特別損失の計上のお知らせ

当社は、2021年3月期通期業績予想につきまして、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。また、2021年3月期において、繰延税金資産および特別損失を計上する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正等について

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	47,600	1,800	1,700	1,400	円 銭 69.48
今回修正 (B)	47,936	2,359	2,385	2,170	107.72
増減額 (B-A)	336	559	685	770	
増減率 (%)	0.7	31.1	40.3	55.0	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	48,034	1,107	751	479	23.78

2021年3月期通期個別業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	41,400	1,100	900	円 銭 44.67
今回修正 (B)	40,854	1,472	1,434	71.18
増減額 (B-A)	△546	372	534	
増減率 (%)	△1.3	33.8	59.3	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	42,203	354	95	4.76

2. 修正等の理由

全世界で新型コロナウイルス感染拡大が深刻化する中、当社は、衛生・安全管理、感染防止策を徹底し、製品の安定供給を果たすべく最善を尽くすと共に、事業戦略である「成長市場へのアプローチ」、「汎用容器事業の基盤強化」を推進してまいりました。国内では、イベント、外食、旅行関連等向け需要が落ち込む一方、コロナ禍を契機として新しい働き方や消費行動の変化により、中食、内食向けは堅調に推移し、特にテイクアウト、フードデリバリーが新しい生活様式として浸透してきております。また、世界的な環境意識の高まりの下、環境配慮型素材・製品の開発、上市を進めております。原油価格の下落に伴い、原材料価格は軟調に推移し、コロナ禍での働き方の見直し等を通じて業務の効率化を進めました。こうした事業環境下、当社個別営業利益、経常利益は増益となる見込みです。

また「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社が保有する工場の一部の固定資産について、将来の回収可能性を検討した結果、245 百万円の減損損失を計上する見込みとなった一方で、今後の業績見通しを踏まえて繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、2021 年 3 月期末において繰延税金資産を計上することとし、法人税等調整額を△472 百万円（△は利益）計上する見込みとなりました。前述経常利益の増加にこれらの影響を加え、個別当期純利益は当初予想を上回る見込みです。

中国では、コロナ禍をいち早く脱し経済活動が正常化しつつあり、ライフスタイルの変化、環境意識の高まりに対応した製品の供給、並びに、3 生産拠点での最適生産体制推進により、業績は堅調に推移しました。この結果、連結経常利益、当期純利益は当初予想を上回る見込みです。

(注) 上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって上記の予想とは異なる結果となる可能性があります。

以 上